

2019 年度実施概要

学校名

沖縄県糸満市立糸満中学校

採択活動名

「海人科（うみんちゅか）」～海人（うみんちゅ）が活躍した糸満の海を学ぼう～

取り組みの概要

1 学年テーマ「ふるさと糸満 100 年計画」

1 学年は、海の学習を通して「主体的活動を促しながら生きる力を育む」ことをねらいとしてテーマを設定した。海の現状を把握するために、海に関わる「環境」「地域行事」「漁業」「歴史」「食文化」「産業」「生物」「観光」の 8 つの視点で調べ学習や、講師を招いての学習を行った。

- ・ 4 月 ビーチクリーン…ビーチの清掃活動を通して地元糸満の海の現状を知った。(美々ビーチいとまん)
- ・ 6 月, 7 月 調べ学習…興味のあるテーマごとに調べ学習と校外にて講師を招き学習を行った。
- ・ 9 月 学級で話し合い…各学級で取り組むべき課題を話し合い、テーマを設定した。

【1 組】「地域活性化のための CM 制作」

テーマは「地域行事」。どうすれば糸満の伝統行事であるハーレーや大綱引などに地元の人が参加し、これから先も伝統を受け継ぐことができるのかを考えた。そこで、オリジナルのシナリオ「ちくわの穴をのぞいたら」を考え、地域を活性化するための CM づくりを行った。

【2 組】「環境保護ポスターづくり」

テーマは「環境」。現状の豊かな環境を 100 年後まで残すことができるのかを考え、地域の人たちへ環境の保護を訴えるポスターやオリジナルムービーの制作を行った。

【3 組】「海のゴミをアートに変える」

テーマは「環境」。海で拾ったゴミを何かに活かすことができなからとを考え、回収したゴミから小物作りを行った。オリジナルフォトフレームやミニチュアの首里城など、様々なものを制作した。

【4 組】「伝統のカマボコ開発」

テーマは「食文化」。糸満の海の食べ物といえばカマボコ。今年創業 100 周年の西南門小カマボコ屋とコラボした記念カマボコの開発と、美らキャロットを使ったオリジナルスモージーづくりを行った。糸満の地元食材を使った新しい商品開発を行うことで、糸満市の魅力をアピールした。

【5 組】「この先、海です。プロジェクト」

テーマは「生物」。人間が出すゴミが、海の生物を苦しめていることを改善することができないか考えた。講師を招いてのアクティビティや道路の雨水溝にポイ捨てをしないよううったえるペイント活動を通して、海の生物について学んだ。

- ・ 10 月, 11 月まとめ…各学級でまとめ、学年で発表会を実施。

2 学年テーマ 「海との共生」

「海との共生」をテーマに地元糸満市の海の現状や漁業の実態を把握し、私たちが今できることを考えた。そこから、どのように海を守り、持続可能な社会を創造できるかを考え、SDGs（持続可能な開発目標）の 12 番「つくる責任・つかう責任」、14 番「海の豊かさを守ろう」に関連する活動を行った。

・ 4 月 ビーチクリーン…海岸の砂浜に埋まったペットボトルの蓋やビニール袋を回収・清掃することで、海の現状を知り海の環境を守ることへの必要性を感じるきっかけとなった。

・ 5 月 魚料理体験…地元の海と「食」を結びつけ、地元の「あんまー魚市場」の協力を得て、魚の種類や特徴、調理方法を学んだ。その後、実際に糸満の海で採れた魚を使って魚料理を作り発表会を行った。実際に調理体験を行い、海の豊かさを感じるとともに、「漁業の町・糸満」と自分たちの生活が密接に関わっていることを実感できた。

3 学年テーマ「世界につながる故郷の海 再発見プロジェクト」

・ 4, 5 月 ビーチクリーン…美々ビーチいとまんで 2 度の清掃活動を行った。弁当箱や空き缶など大量のゴミが確認できた。「ゴミは持ち帰る」などのマナーの大切さを改めて考えさせられる機会となった。

- ・5月 新糸満造船所見学・・・新糸満造船所の「シンクロリフト」を見学。「シンクロリフト」は新糸満造船所を含め日本には3か所にしかなく、そのため沖縄県以外からも多くの船が点検を受けにやってくる。そのことにより、沖縄県に大きな経済効果をもたらしていることを知る。
- ・5月 サバニ工房見学・・・サバニを見学。伝統文化の継承について考える良い機会となった。その後、糸満帆掛サバニ振興会の協力で、実際にサバニ漕ぎに挑戦した。
- ・5月 船上に必要な技を学ぶ・・・沖縄水産高等学校の生徒を講師に、ロープワークと手旗信号を学んだ。ロープワークなど、実生活にも生かせることを学んだ。
- ・7月 美々ビーチいとまん（ライフガードとマリンスポーツ）・・・美々ビーチ糸満ではビーチで働く人たちの仕事内容について学ぶことができた。ライフガードの方々から海において、命を救う際の知識と方法を学び、ビーチで働く人たちの命に対する真剣な思いに触れることができた。
- ・7月 マイクロプラスチックゴミ問題・・・沖縄水産高等学校の生徒と先生を講師に、海ゴミ問題について学んだ。「海ゴミ問題」はSDGs（持続可能な開発目標）ともつながっており、現在、海の中で起こっている問題について知る機会となった。30年後にはゴミの量が魚の量を超えることなど、今後の生活の在り方について考えることができた。

活動中の写真



1 学年 ビーチクリーン



2 学年 魚料理体験



3 学年 帆掛けサバニ漕ぎ体験



3 学年 新糸満造船所見学

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

- | | | |
|---------|-------------------------|------|
| 1. 1 学年 | 「ふるさと糸満100年計画」 | 40時間 |
| 2. 2 学年 | 「海との共生」 | 17時間 |
| 3. 3 学年 | 「世界につながる故郷の海 再発見プロジェクト」 | 23時間 |